

# 一般国道 1 5 8 号 松本波田道路

## ( 再 評 価 )

平成 2 0 年 1 月 2 3 日

関東地方整備局

# 事業評価監視委員会 道路事業 位置図



# 1. 事業の目的と計画の概要

## (1) 目的

- ・広域幹線道路網の形成
- ・松本市及び波田町の交通混雑の緩和

## (2) 計画の概要

区 間 自) 長野県松本市島立  
至) 長野県東筑摩郡波田町石原

車線数 4車線

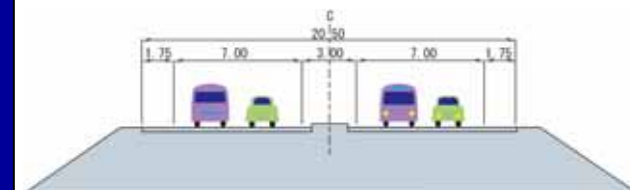
事業化 平成8年度

イメージ図

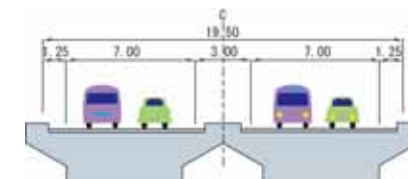


標準横断面図

■ 標準横断面図 盛土区間 (単位:m)



■ 標準横断面図 橋梁区間 (単位:m)



## 2. 事業の必要性に関する視点

- ・ 松本波田道路を含む中部縦貫自動車道は、中央自動車道、東海北陸自動車道、北陸自動車道の3本の高規格道路を結び、広域ネットワークを形成。

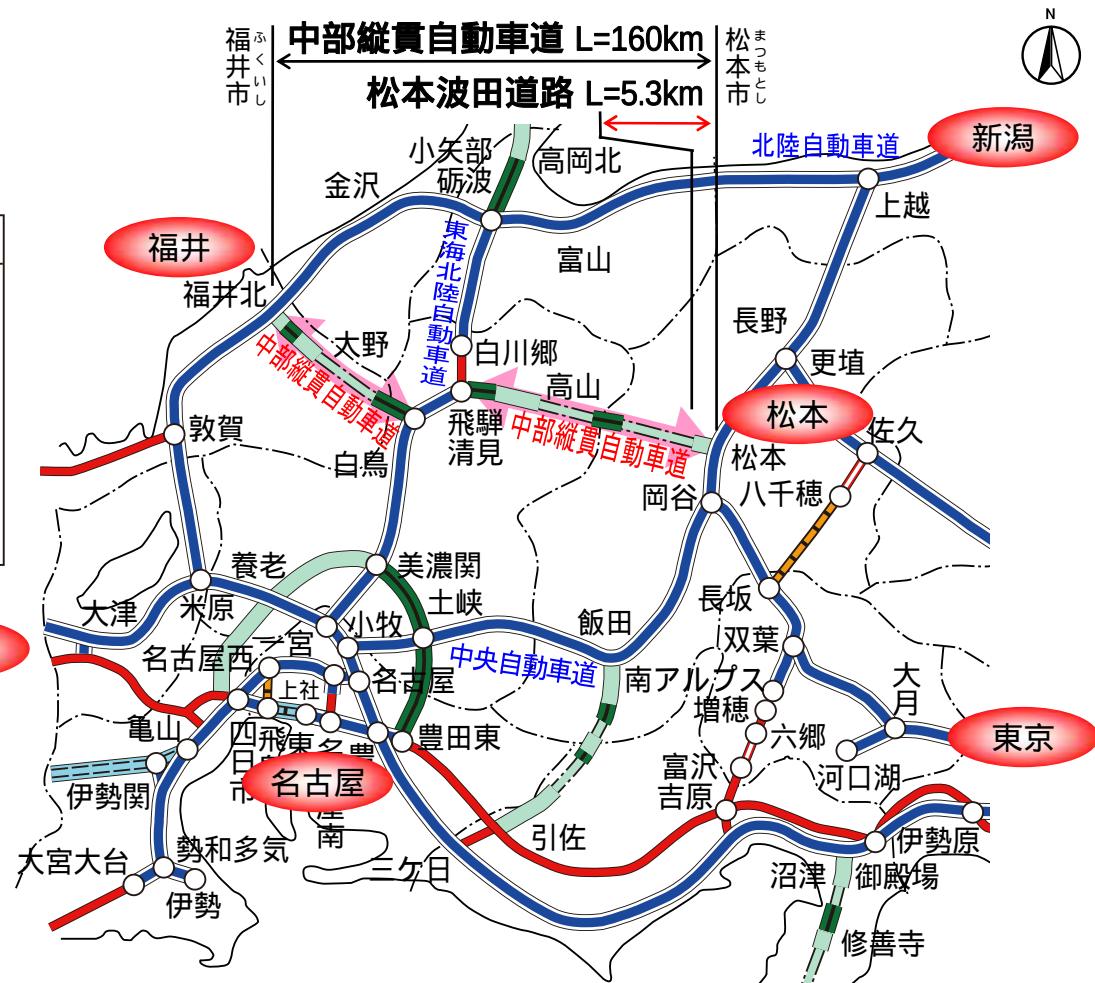
### 広域幹線道路網の形成

関東・中部・北陸を高速で結び、  
広域ネットワークを形成！

| 凡 例          |                     |
|--------------|---------------------|
| 高速自動車国道      | 一般国道自動車専用道路         |
| — 供 用 区 間    | — 供 用 区 間           |
| — 整備計画区間     | — 事 業 区 間           |
| — 整備計画区間（直轄） | — 計 画 区 間           |
| — 基本計画区間     | 高速自動車国道に並行する自動車専用道路 |
| — 予定路線区間     | — 供 用 区 間           |
|              | — 事 業 区 間           |

高規格幹線道路網図（平成19年4月現在）

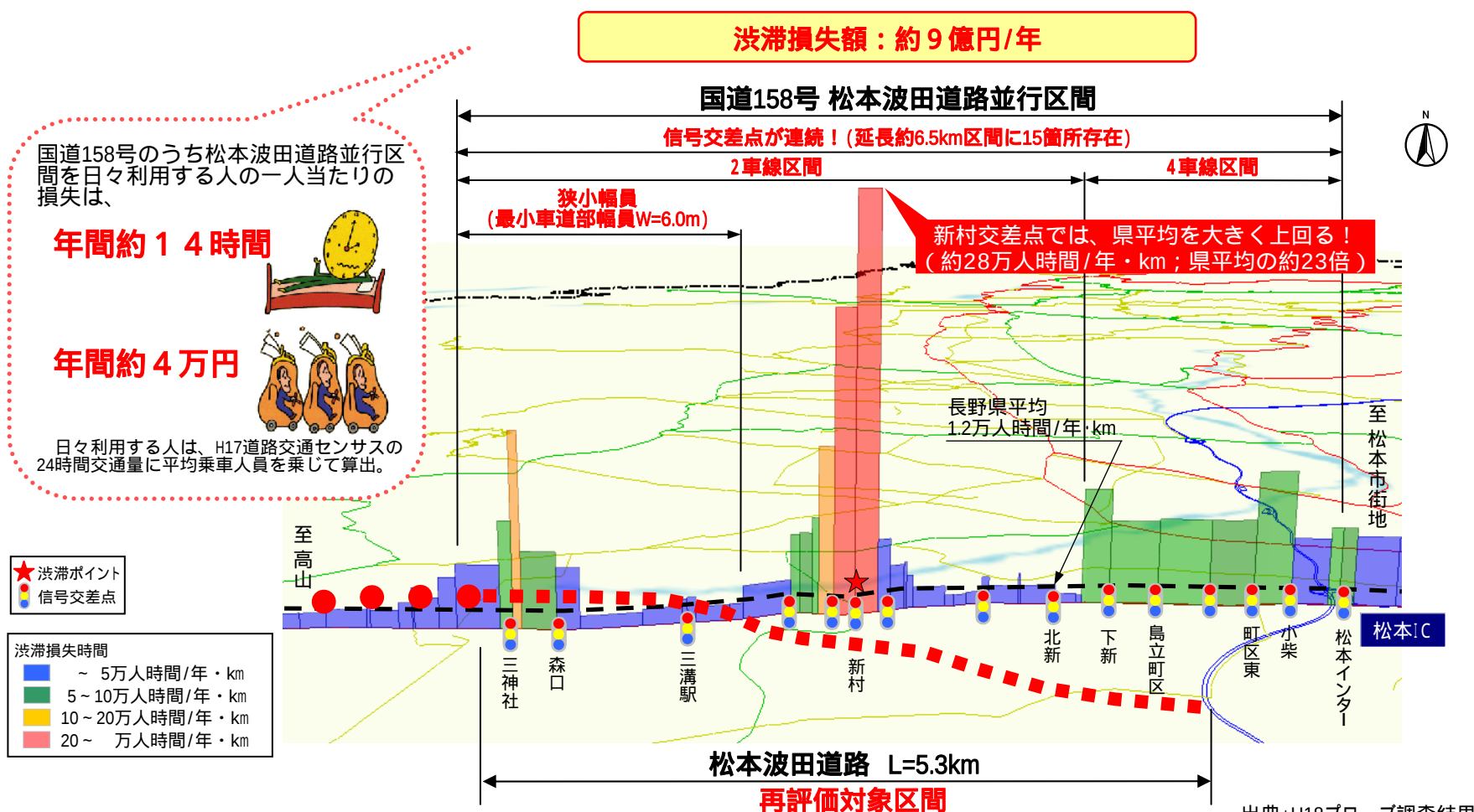
出典：平成19年度高速道路便覧



## 2. 事業の必要性に関する視点

- 再評価対象区間に並行する一般国道158号は、新村交差点が主要渋滞ポイントとなっており、慢性的な交通混雑が発生。渋滞損失額は、約9億円/年。

### 渋滞損失時間の現状

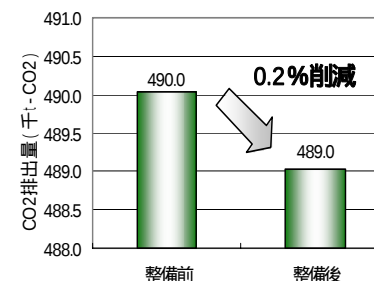
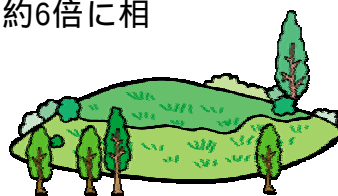


## 2. 事業の必要性に関する視点

- 松本波田道路の整備により、CO<sub>2</sub>、NO<sub>x</sub>、SPMの年間排出量が削減。

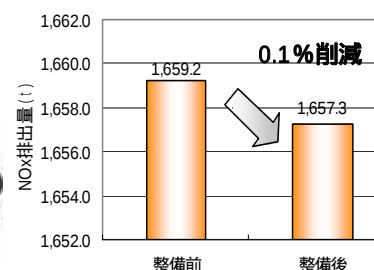
CO<sub>2</sub>・・・年間1,000 t -CO<sub>2</sub> (0.2%)削減  
(森林約95haの二酸化炭素吸収量に相当)  
(日比谷公園(約16ha)の面積の約6倍に相当)

約6倍



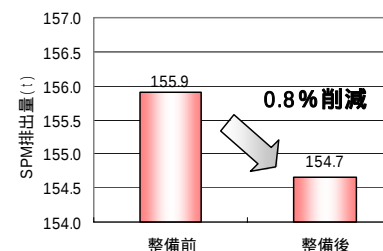
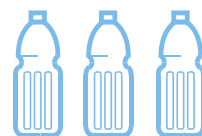
NO<sub>x</sub>・・・年間2.0 t (0.1%)削減  
(東京都を走行する大型車に換算すると約6,400台に相当)  
大型車1台が東京都における平均距離を走行した場合のNO<sub>x</sub>排出量  
大型車の速度を40km/h、平均走行距離を70km/台として換算

約6,400台



SPM・・・SPMを年間1.2 t (0.8%)削減  
(500mlペットボトル約12,500本分に相当)  
ペットボトル1本(500ml)に入るSPMを約100gとして計算

約12,500本



### 3. 費用対効果

#### ■ 便益

|                    | 走行時間<br>短縮便益 | 走行経費<br>減少便益 | 交通事故<br>減少便益 | 合計    |
|--------------------|--------------|--------------|--------------|-------|
| 基準年における<br>現在価値(B) | 368億円        | 32億円         | 17億円         | 417億円 |

#### ■ 費用

|                    | 改築費   | 維持管理費 | 合計    |
|--------------------|-------|-------|-------|
| 基準年における<br>現在価値(C) | 205億円 | 21億円  | 226億円 |

#### ■ 算定結果

|     |                                                 |     |
|-----|-------------------------------------------------|-----|
| B/C | $\frac{417\text{億円 (総便益)}}{226\text{億円 (総費用)}}$ | 1.8 |
|-----|-------------------------------------------------|-----|

注1) 費用及び便益額は整数止めとする。

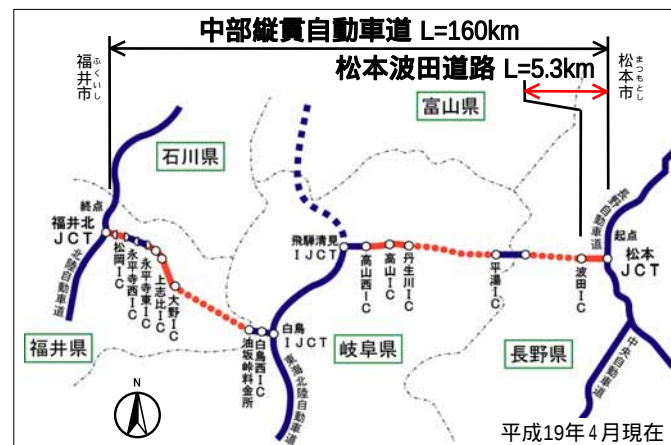
注2) 費用及び便益の合計額は、表示桁数の関係で計算値と一致しないことがある。

## 4. 事業進捗の見込みの視点

### ・松本波田道路の経緯

|          |                                                                |
|----------|----------------------------------------------------------------|
| 昭和62年度   | 高規格幹線道路に位置付けられる                                                |
| 平成11年 3月 | 都市計画決定                                                         |
| 平成11年度   | 路線測量、地質調査                                                      |
| 平成12年 4月 | 整備計画決定                                                         |
| 平成12年度   | 地元設計協議着手、道路・橋梁予備設計                                             |
| 平成13年度～  | 松本波田道路のアクセス道路となる長野県事業<br>はたきたあつまとよしなせん<br>波田北大妻豊科線の整備計画について再検討 |
| 平成18年12月 | 松本波田道路のアクセス道路となる長野県事業<br>はたきたあつまとよしなせん<br>波田北大妻豊科線の整備計画決定      |

用地買収は未着手



## 4. 事業進捗の見込みの視点

|            | 事業化 |    | 都市計画決定 |     | 整備計画決定 |     |     |     |     |     |     |     |     |
|------------|-----|----|--------|-----|--------|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|
| 年 度        | H8  | H9 | H10    | H11 | H12    | H13 | H14 | H15 | H16 | H17 | H18 | H19 | H20 |
| 調査・設計・地元調整 |     |    |        |     |        |     |     |     |     |     |     |     |     |
|            |     |    |        |     |        |     |     |     |     |     |     |     |     |
| 用 地        |     |    |        |     |        |     |     |     |     |     |     | 0%  |     |

## 5. 今後の対応方針(原案)

### (1) 事業の必要性等に関する視点

- ・国道158号は、松本市と高山方面を結ぶ唯一の幹線道路であり、日常生活・観光・産業交通は本路線のみに頼っている。市街地においては、交通の集中による朝夕の慢性的な交通渋滞が発生している。
- ・長野県内の中部縦貫自動車道の内、松本波田道路を第一に整備するのは、国道158号の内最も渋滞が発生している波田市街地の渋滞を緩和するために、長野道へのアクセスを松本波田道路を利用することで国道158号波田市街地を通過することが無くなり、交通を分散させ、渋滞を緩和させる事が出来るからである。
- ・中部縦貫自動車道の一部を形成する松本波田道路は、広域ネットワークを形成し、市街地の交通渋滞緩和などから整備が必要であり、その費用対効果も高くなっていることから(B/C = 1.8)、引き続き早期整備を進める必要性がある。

### (2) 事業進捗の見込みの視点

- はたきたおおつまとよしなせん
- ・松本波田道路のアクセス道路である長野県事業波田北大妻豊科線の整備計画が決定し(地元促進団体の要望も強くなっており)、平成20年度に説明会が実施出来れば早期に用地買収に着手出来る見込み。

### (3) 対応方針(原案)

- ・当事業は継続が妥当。
- ・今後は地元設計協議を進めつつ、周辺の道路網の整備状況を勘案し事業を進める。